

科目区分	研究科目		
授業科目名	分子病態学・腫瘍病態学		
担当者名	大森 泰文	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	研究室
授業形態	実験実習		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
授業の概要・到達目標 授業の目的: 疾患の成り立ちを解明するための組織病理学および分子病理学的方法論を学び実践することを目的とする。特に、細胞傷害機構、組織傷害と再生、細胞癌化とその制御機構について焦点をあてる。 授業の到達目標: 作成した論文を学術論文誌に公表後、学位審査を経て、学位取得を目標とする。 授業の概要: 本研究科目においては、 1. 定期的な文献抄読会、研究会議を通じて研究テーマについて最新の知見を得るとともに研究を開始するにあたっての作業仮説の立て方や実証方法を指導する。 2. 細胞培養法や動物取扱い手技を習得させるとともに、得られた実験データの解析法とまとめ方などについて指導する。 3. 研究成果について学会等で発表する方法、学術論文として完成させる方法について指導する。			
問い合わせ先(氏名、メールアドレス等) 大森 泰文, yasu@med.akita-u.ac.jp			
その他特記事項 履修に関する情報: 社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献: 必要に応じて資料を配付する。または、文献を指定する。 自学自習における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			

科目区分	研究科目		
授業科目名	器官病態学		
担当者名	後藤 明輝	配当年次	2, 3年次
単位数	15単位(選択)	実施場所	研究室
授業形態	実験実習		
開講曜日・時間	科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します		
授業の概要・到達目標 授業の目的: 人体病理学の研究を行い、学会発表、英文論文発表を行う。 授業の到達目標: 人体病理学につき作成した論文を学術論文誌に公表後、学位審査を経て、学位を取得することを目標とする。 授業の概要: 呼吸器・循環器疾患を中心とする各種の疾患につき、その病態および病因を病理学手法を用い探索する。研究対象としては、病理解剖例や手術症例などの人体材料を用いる。方法としての病理学的手法には、光学顕微鏡や電子顕微鏡による観察から、免疫組織化学を含む各種の分子病理学的手法、および臨床病理学的因子を含む統計学的解析など、幅広い方法が含まれる。 こうした研究を的確かつ効率的に進めるべく、研究指導を行い、論文作成まで責任を持つ。 履修に関しては、各人の興味に応じたテーマの設定を行い、将来自立した研究者となることを目標に各種の指導・支援を行う。			
問い合わせ先(氏名、メールアドレス等) 後藤 明輝, akigoto@med.akita-u.ac.jp			
その他特記事項 履修に関する情報: 社会人大学院生など、勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献: Rosai and Ackerman's Surgical Pathology (Elsevier) 自学自習時間における学習内容: 到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。			